



第二中通信

安中市立第二中学校
平成28年8月29日(月)

二中スピリッツ

文武両道・継続は力なり・3C精神

発行責任者 石坂 克己

住所 安中市原市2245番地2 電話 027-385-7857

2学期が始まりました

39日間の夏休みも終了し、本日より2学期が始まりました。県総体に始まり、リオデジャネイロオリンピックで終わった夏休みでしたが、皆さんはどんな夏休みを過ごしたでしょうか。3年生で部活動から引退した生徒はしっかりと気持ちを入れ替え新たな目標に向かっての生活を始めることができたでしょうか。2学期には今後の進路について最終的な決定もしていかなければなりません。家庭でよく話し合い、自分が本当に進みたい進路が選択できるようにしていただきたいと思います。1・2年生は、部活動の中心として活動する事になりました。中体連の新人戦も9月の中旬から始まります。よい結果を残せるよう頑張ってくださいと思います。

安中市総合体育大会・関東大会の結果

=個人の部=

卓球男子ダブルス	優勝	山野・大手組(県大会出場)
男子シングルス	優勝	加藤 樹(県大会出場)
同上	準優勝	塚本悠人(県大会出場)
同上	第3位	大手一弘(県大会出場)
同上	第3位	大河原郁春(県大会出場)
女子ダブルス	準優勝	富田・林組(県大会出場)
同上	第3位	公平・三野組(県大会出場)
女子シングルス	優勝	林 奈々美(県大会出場)
ソフトテニス男子個人	優勝	須藤・儘田組(県大会出場)
同上	準優勝	小板橋・笹原組(県大会出場)
同上	第3位	佐藤・山中組(県大会出場)
同上	第3位	儘田光・伊藤組(県大会出場)
同上	第3位	上原・新井組(県大会出場)
ソフトテニス女子個人	準優勝	佐藤・中澤組(県大会出場)
同上	第3位	川合・田村組(県大会出場)
同上	第3位	内田・清水組(県大会出場)
剣道男子個人	準優勝	今田柊也(県大会出場)
陸上競技男子	4×100mリレー	第2位 岡田・長橋・櫻井・上原(県大会出場)
	400m	第1位 長橋良尚(県大会出場)
	砲丸投げ	第2位 大手輝将(県大会出場)
	同上	第3位 今田柊也
	110mH	第2位 岡田 楓(県大会出場)
	200m	第2位 長橋良尚(県大会出場)
	800m	第2位 伏田悠貴(県大会出場)
	3000m	第2位 多胡雅貴(県大会出場)
	1500m	第2位 多胡雅貴(県大会出場)
	同上	第3位 牧野舜希
	2年100m	第3位 櫻井駿太郎
	1年100m	第1位 上原正大(県大会出場)
	1年1500m	第1位 松木温成(県大会出場)
陸上競技女子	4×100mリレー	第2位 松本・吉田・牧・佐藤(県大会出場)
	200m	第1位 佐藤紗衣(県大会出場)
	同上	第3位 吉田明日香
	3年100m	第1位 佐藤紗衣(県大会出場)
	同上	第2位 吉田明日香(県大会出場)
	砲丸投げ	第2位 中村優里弥(県大会出場)
	走り高跳	第2位 三野亜美
	同上	第3位 本山奈樹
	2年100m	第1位 牧 弘香(県大会出場)
	同上	第3位 松本華帆

関東大会の結果

ソフトテニス男子 団体 バスト8
個人 須藤・儘田組 1回戦敗退

県吹奏楽コンクール

8月5日(金)群馬県民会館で行われました。本校は惜しくも銀賞でしたが、素晴らしい演奏を行ってくれました。



少年の主張大会西部地区大会

少年の主張西部地区大会が、8月4日(木)に藤岡市みかほみらい館で行われました。大会には安中市の代表として3年生の長滝涼生君・瀧口健一君が出場しました。二人は落ち着いた態度で堂々と自分の意見を発表してくれました。その結果見事二人とも最優秀賞に選ばれ、9月17日(土)に行われる県大会への出場が決まりました。県大会でもしっかりと自分の意見を発表してもらいたいと思います。

【最優秀作品】

生きる

安中市立第二中学校 三年 瀧口 健一

嘘。それは、本当ではないこと。嘘をつくことは、時に人を傷つけ、時に人を騙す悪い行為です。しかし、嘘をつくことは悪いことだけなのではないでしょうか？僕は、人生の中で大きな嘘に向き合ったことがあります。

僕には、今、母がいません。昨年二月に亡くなりました。母は重い病気と闘っていましたが、呼吸をするのが難しく、息をするのが苦しくなり、意識が無くなったそうです。僕が三歳くらいの時に母は病気になったらしく、僕は母が亡くなるまで病気のことを詳しくは知りませんでした。母からは病気のことを何も言われず、僕もあまり尋ねませんでした。また、母には入院していることを誰にも言わないで欲しいと頼まれ、友達に本当のことを伝えませんでした。そして僕と母はお互い真実を伝えあわず、悪い言い方で言えば「嘘」をついたとも言えます。親子同士嘘をつくという生き方を選んだのです。しかし、その嘘は相手を傷つけるような悪い嘘ではなく、相手を心配させないための良い嘘でした。僕は嘘というものは悪いものだけだと思っていました。ところが、「人の為と書いて偽り」と読む良い嘘もあることに気が付きました。この良い嘘によって僕は僕らしく、母と普段通りの生活ができた気がします。

また、母は呼吸をするのが難しく、母とのコミュニケーションは筆談で行っていました。A4のコピー用紙に自分の伝えたいことをひたすら書いていました。母の字からは、体調や気持ちなども伝わってきました。ある日は達筆な文字で書いてあったり、ある日は弱々しい文字で書いてあったりもしました。そうした筆談のやりとりからは、母の生きることへの思い「生きたい」という気持ちが伝わってきました。そして、母は僕に向かってある言葉をのこしてくれていました。たくさん書かれた筆談の紙の中に一言、「けんちゃんは天使だから」と、僕のことを母は天使だからと言ってくれていました。その一言には僕を思う母の気持ちが込められていました。その言葉から、僕は母の分までもしっかりと「生きたい」と思うようになりました。今でもその言葉が書かれた筆談の紙は残っていますが、見る事ができないでいます。それを見れば、僕はきっと泣いてしまうからです。いつかその紙を見られるようになった時には、僕は誰とどこにいて何をしているのでしょうか？そんな日が来るまで一日一日を大切に「生きよう」と思います。

果たして「生きる」とはどんなことなのだろうか？この問いの答えは人それぞれだと思います。ですが、どのような気持ちで「生きたい」か？この答えは、「楽しく幸せに生きる」ただ一つだと僕は思います。そして、楽しく幸せに生きるには、感謝の気持ちが必要だと思うようになりました。「毎日食事ができること」「学校に行き勉強ができること」「あたりまえのように生きていること」に感謝の気持ちをもつことが大切です。僕たちは多くの人たちのおかげで生きています。お米を育ててくれる農家の方、学校の先生、そして何より、一番感謝しなくてはならないのは、家族です。普段言葉にできないけれど、感謝すべきことはたくさんあるはず。僕は母との最後の時間を思い出して、母がいてくれること自体が幸せなことだったのだと気が付きました。そして、感謝の気持ちをもったなら、それを伝えることも大切だと思うようになりました。母は筆談までして自分の気持ちを懸命に伝えていました。母は僕を心配させないよう優しい「嘘」をつきつつ、残された時間を精一杯生きるために僕と家族に自分の気持ちを伝えてくれていたのです。母が僕に残してくれたのは、思いやりのある「嘘」と「自分の気持ちを伝えることの大切さ」です。だから僕は「あたりまえ」と思えることに感謝をし、それを伝えるべき人に伝えていきたいと思うのです。

全ての物事には必ず終わりがきてしまいます。何かを失うということは苦しいことです。僕は母という大きな存在を失いましたが、母からは生きていく上でとても大切なことを教わりました。そして、母は僕に今何を望んでいるのか、それはきっと「精一杯生きて欲しい」ただその一言がもしもありません。だからこそ僕は、母から教わったことを大切にし、まっすぐ前を向いて生きていきたいと思っています。皆さんは何を大切に生きていきたいですか？

情報管理にご注意下さい。

この紙面における【個人情報】については、個人情報保護の観点から、お取り扱いには十分ご注意下さい。
なお、情報管理についてご要望等ございましたら、学校までお知らせ下さい。
(安中市立第二中学校 TEL: 385-7857)

